

氏名	志望学科	児童学科
----	------	------

## 1. 大学生生活計画書

### 1. 聖学院大学で学びたいことはどのようなことですか？

児童学を学びたいです。何となく子どもと関わるのではなく、ひとりひとりの個性を伸ばすための関わりができるようになりたいと考えているため、児童学科に入ったら、子どもの発達や関わり方、ピアノ、製作物などを作り、子どもと楽しく関われるような技能を学びたいです。また、児童学海外研修に参加し、海外の保育と日本の保育の違いも学びたいと考えています。

### 2. 聖学院大学在学中に勉強以外で取り組んでみたいことは何ですか？

サークル活動やボランティアなどのコミュニティに興味があります。サークル活動では、私は歌うことが好きなのでアカペラ部か聖歌隊に入り、様々な人と会話をし交流を深め、自分の視野を広げていきたいです。また、聖学院大学ではボランティアが盛んと聞いていたので、東北のよいさ祭などにも参加出来たら嬉しいと思います。高校ではやってこなかったに挑戦してみたいです。

### 3. 現時点で考えている大学卒業後のビジョンはどのようなことですか？（就職・進路・人生など）

卒業後は保育所か幼稚園、またはその他の子どもの施設で働きたいと考えています。そして、子どもたちの育ちを支え、歌を一緒にたくさん歌う先生になりたいです。具体的な就職場所はまだ思いつきませんが、自分の興味のあることを取り入れながら働くことに関心があります。自分の人生ですが、誰かが主役になったり、誰かの成長を支えられる人になれる人になりたいと考えています。

### 【大学生生活計画】上記1～3を踏まえて、大学生生活の4年間をどのように過ごすかの計画を立ててみてください

- ・ 1年生  
学部を超えて沢山のひとと関わる。時間に余裕があるときはサークルや部活、バイトをして、やりたいことをやってみる
- ・ 2年生  
児童学海外研修に参加し、日本の教育と海外の教育の違いを学ぶ  
授業では発達について特に深める 旅行やボランティアは遠い場所でもチャレンジできたらする
- ・ 3年生  
部活で主体的に活動しつつ、実習に向けての自分の課題を見つける  
絵本やおもちゃなどさまざまな児童文化財に触れる
- ・ 4年生  
実習での振り返りと自分が行いたい保育の探求  
実習が落ち着いたら、さらに教養を深める授業を取る

注) ※高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定の合格者は、直近3年間の生活・学習記録として記入すること。  
※記入は黒のボールペンを使用すること。(フリクション不可) ※【受験番号\*】は記入しないでください。  
※両面印刷不可、モノクロ印刷は可。

## 2. 高校生活記録

### 1. 高校生活で最も打ち込んだことはどのようなことですか？

**勉学面：**自分を成長させるため、特進クラスを希望し、通常よりも多く授業を取ったり、勉強合宿に参加したりしました。高校生活の中で英会話に興味を持ったので、友達と英語で会話することを積極的に行っていました。また、英単語を歌で覚える努力もしました。自分が大変だと感じることを自分の楽しさに変える工夫や柔軟性を高校では学びました。

**勉学以外の面：**私は英語部と歴史研究部に所属しています。英語部では部内でテーマを決め、スピーチをして感想を伝え合う活動や英語の絵本や物語を読み聞かせして感想を伝え合う活動を行っていました。また、部活を通して交換留学生と交流を深め、留学生が通う異文化サークルに行き、積極的にコミュニケーションをとることで、様々な価値観を尊重することの大切さを学びました。歴史研究部では川越の歴史的建造物のフィールドワークを行いました。また、地域に古くからある神社をモチーフに地域の振込詐欺防止活動を行い、地域の大切な人や場所を守るため、行動を起こす方法を学びました。

### 2. 高校生活で得たものは何ですか？

**勉学面：**「塵も積もれば山となる」という言葉のように、小さなことでも続けることで成長できることを学びました。また、興味のあることを調べた結果、思いがけないことに発展したり、人とのつながりが生まれることを学びました。私は留学生と会話することがとても好きです。英語を話したり、いくつかの言語を教えたことがきっかけで異文化交流サークルに参加させていただく機会を得ることができました。勉強として英語を頑張ったつもりでしたが、英語部に入ることにつながり、大切な友人もできました。

**勉学以外の面：**異文化交流を一つ例に挙げると、自分の当たり前は人にとっては当たり前ではないということを学びました。同じ日本人でも当たり前は異なりますが、外国人となればなおのこと。違うから、「嫌い」や「怖い」のではなくて、まずは知るために、相手の懐に飛びこむ経験が必要だと思います。しかし、人によって飛び込んできてもいいラインが異なることで、自分からのコミュニケーションの工夫を求められることもあります。相手を知りたいという好奇心は大切ですが、相手と自分が心地良く関わるためにはどうしたら良いのかについても考えさせられました。

### 3. 日頃あなたが大切にしていること（心がけていること）は何ですか？

相手も自分も大切にすることです。自分のことを大切にできる人は、人にも大切にできると思うからです。そして、自分の考えは変わっていくものですが、その時に良いと思った直感を大切にしています。あまり考えずに行動してしまうという短所にはなりますが、その時のベストを尽くすことにつながるといえる長所になるとも感じています。

氏名	志望学科	児童学科
----	------	------

## 1. 大学生生活計画書

### 1. 聖学院大学で学びたいことはどのようなことですか？

貴校で学びたいことは二つあります。一つ目は小学校教諭の資格と、幼稚園教諭の資格を取るために専門的な学習をすることです。子どもへの理解を貴校で深め学習し、3、4年時には実習を行い、現場の子どもの姿を観察して将来に向けての良い経験と学びにしたいと考えています。二つ目はキリスト教についてより理解を深めることです。貴校を調べていく中で、貴校の特徴でもあるキリスト教に興味関心をもちました。キリスト教について理解を深め、自分の生き方や価値観についてより深く考えるきっかけとしたいと思っています。

### 2. 聖学院大学在学中に勉強以外で取り組んでみたいことは何ですか？

勉強以外で頑張りたいことは、社会貢献です。具体的には、大学内のボランティアやバイトに取り組んでみたいです。地域の方々と共に楽しみながら地域の活性化に取り組みたいです。また、バイトをすることで社会貢献をすると共に、言葉遣いや礼儀作法を学びたいと考えています。また、一人暮らしを考えているため、光熱費や食費、家賃などは自分で負担して少しでも両親に楽をさせてあげたいと考えているので、勉強と両立できるように頑張りたいです。

### 3. 現時点で考えている大学卒業後のビジョンはどのようなことですか？（就職・進路・人生など）

私は、大学卒業後、小学校教諭になろうと考えています。大学で学んだ知識をすべて現場で活かそうと考えています。小学校教諭になるためには、教員採用試験を受ける必要があります。大学で勉強した知識や経験だけでは合格することは困難と今は考えています。ですので、日々の勉強を少しずつ頑張ることを目標にしています。大学を卒業した際には、子ども一人一人と向き合い、周りをよく見て行動でき、互いに成長していけるような先生になりたいです。

### 【大学生生活計画】上記1～3を踏まえて、大学生生活の4年間をどのように過ごすかの計画を立ててみてください

一年次には、バイトを始める。同じ資格を取る仲間と交流を深める。ボランティア活動をできるだけ参加をして社会貢献に取り組むことをすべきではないかと考えます。そして人間関係を深めるために部活動やサークルに入ることが大切ではないかと考えています。二年次には、専門的な分野を履修することが多くなっていくと思うので予習復習に取り組みたいです。ボランティアやバイトの両立も忘れずに取り組みたいです。三年次には教育実習があるのでその準備をします。具体的には、実習先の小学校の教育理念を理解することや大学との連携、相談を怠らないことを励みたいと考えています。バイトでは段々と経験して後輩がいずれ入ってくると思うので丁寧に指導して共に頑張りたいです。四年次には教員採用試験が近づいてくるので毎日少しずつ勉強を進めていき、力をつけ本番を迎えるようにしたいと考えています。そして、立派な教師になりたいです。

注) ※高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定の合格者は、直近3年間の生活・学習記録として記入すること。  
※記入は黒のボールペンを使用すること。(フリクション不可) ※【受験番号\*】は記入しないでください。  
※両面印刷不可、モノクロ印刷は可。

## 2. 高校生活記録

### 1. 高校生活で最も打ち込んだことはどのようなことですか？

#### 勉学面：

高校1、2年の頃には予習や復習をきちんとし、分からない部分があった際には、先生に率先して質問をしていました。高校3年になってからは、授業で解いた教わった問題以外も解きたいと考え、個別に教材をいただき問題を解いたり、文法についての専用の添削ノートを作成して先生に提出をしたりなどして周りよりも点数がとれるように励みました。また、日課として単語帳を毎日読んだり、難しい単語はすぐに辞書を引いて調べるなど分かるまで勉強し努力しました。

#### 勉学以外の面：

私は、高校三年間バドミントン部に所属していました。最初は未経験でしたが、先輩や顧問の先生、そしてなにより周りの仲間の支えがあったため、上達していくことができました。大会などではあまり良い結果を出すことはできませんでしたが、それ以上に仲間と互いに高め合い、喜びを共有することができました。

### 2. 高校生活で得たものは何ですか？

#### 勉学面：

公式を覚えることも大事でしたが、その答えとなる根拠を考えること、理屈を考えるということを得ることができました。答えだけで満足するとそこで止まってしまうので、なぜその答えになったのか、その根拠はなぜか。といったことを考えることで、より良い学びにつながるということを高校3年生の頃に、学びそれ以降実践しています。

#### 勉学以外の面：

人として生きていくためのマナーや礼儀作法を学び身につけました。毎週1回行われる集会では委員会によって挨拶を促され、生徒指導の先生によって頭髪や制服の着こなし方などについて厳しく指導を受けていました。また、担任の先生から授業で言葉の使い方についてたくさんを教えていただき、人として大きく成長することができたと感じています。

### 3. 日頃あなたが大切にしていること（心がけていること）は何ですか？

先生とのよい関係を気づけるよう心がけています。言葉遣いについてはもちろんですが、相手の目を見て話を聞くことや先生が何を伝えようとしているかを考え話を聞くことを心がけています。友達との関係を大切にしていたからこそ部活動や勉強を共に成長することができ、先生との関係を大切にしていたことで分からないことや進路について困ったこと、人間関係で不安になったこと、勉強について分からないことなど、様々なことを先生に相談することができ、多くのアドバイスをもらうことができました。これからも先生とよい関係を築けるよう努力していきたいと考えています。

注) ※高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定の合格者は、直近3年間の生活・学習記録として記入すること。  
※記入は黒のボールペンを使用すること。(フリクション不可) ※【受験番号\*】は記入しないでください。  
※両面印刷不可、モノクロ印刷は可。

氏名	志望学科	日本文化学科
----	------	--------

## 1. 大学生生活計画書

### 1. 聖学院大学で学びたいことはどのようなことですか？

私は貴校の日本文化学科で、伝統芸能について学びたいです。伝統芸能に興味を持ったきっかけは高校3年生の時に見た落語がテーマのアニメでした。落語特有の間のあけ方や小道具の使い方などが面白いと思い調べていくうちに、落語だけでなく他の伝統芸能についても詳しく学びたいと思うようになりました。貴校では体験型授業が多く落語の授業もあると伺ったので、積極的に受講し、一つでも多くの伝統芸能を自分の肌で体感して技術を身に着けたいです。

### 2. 聖学院大学在学中に勉強以外で取り組んでみたいことは何ですか？

サークル活動に取り組みたいです。高校では合唱部に所属していたので、アカペラ部か聖歌隊に入りたいと考えています。歌うことが好きなのはもちろんですが、一つの曲ができた時の達成感や仲間と協力して目標を目指すことができる場所、その中で自分も成長できる場所が魅力に感じています。サークル活動を通じて先輩や他学科の友人とも交流をして、より大学生活が充実したものになるよう積極的に取り組みたいです。

### 3. 現時点で考えている大学卒業後のビジョンはどのようなことですか？（就職・進路・人生など）

国語教師になりたいです。高校2年生の時に教わった古典の先生に憧れ、教師を目指したいと思うようになりました。その先生は作品の時代背景や人々の暮らしについて面白おかしく教えてくださったり、舞台になった場所に実際にいった写真を見せてくださったりしたので、より学びを深めることができました。私もそのような教師になれるよう、貴校で基礎的な学びはもちろん、様々な経験をし、教科書には載っていない役立つ知識も身につけていきたいです。

### 【大学生生活計画】上記1～3を踏まえて、大学生生活の4年間をどのように過ごすかの計画を立ててみてください

1年生：基礎を学びながら学校に慣れる！  
→実際に寄席を見に行く・様々な文学作品を読んで内容や感想をまとめたノートを作る

2年生：友達と情報交換をしながら学びを深める！  
→他の伝統芸能に視野を広げ体験してみる・ノートのまとめた作品を分析してみる

3年生：専門的な知識を学びながら自分で考える  
→経験したことをまとめて比較や分析をしてみる・古文や漢文を強化する

4年生：卒業論文に向けてまとめをしながら教員試験！  
→比較や分析を踏まえて今後の伝統芸能について考える・改めてなりたい教師像を考える

注) ※高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定の合格者は、直近3年間の生活・学習記録として記入すること。  
※記入は黒のボールペンを使用すること。(フリクション不可) ※【受験番号\*】は記入しないでください。  
※両面印刷不可、モノクロ印刷は可。

## 2. 高校生活記録

### 1. 高校生活で最も打ち込んだことはどのようなことですか？

**勉学面：** 隙間時間を有効活用して効率的に学習をすることです。部活動と勉強を両立しながら夜はしっかり睡眠時間を取りたかったので、どんな小さな時間も無駄にしないように勉強をしました。その方法として、少し早起きをして1時間勉強する習慣をつけたり、10分休みの2～3分を利用してキーポイントを短く書き出し、授業の復習をしたりしました。その努力が実り、中間テストと期末テストでは学年順位30位以内を継続することができています。

**勉学以外の面：** 合唱部での活動です。最初は部員同士の意見が合わずすれ違うことが多くて、大変苦労しました。しかしそのままではいけないと思い、先輩後輩関係なくコミュニケーションを取りやすいように率先して雰囲気を作り、部員みんなで協力して一つの曲を完成させようとなりました。その結果、高校3年生でパートリーダーを任せてもらうことができ、コンクールではその年に部で初めての銀賞を頂くことができました

### 2. 高校生活で得たものは何ですか？

**勉学面：** こつこつと努力をする力です。中学生までは一夜漬けでテストに臨むことが多々ありました。しかし、それでは本当に知識が身につけているとは言えないと思い、高校では小さなことからこつこつと積み重ねることを大切にしてきました。そのおかげで部活動と勉強の両立がしやすくなり、成績も伸びるようになりました。そこから、努力は必ず報われるということを学ぶことができました。貴校でもこの経験を忘れずに、勉学に励みたいです。

**勉学以外の面：** コミュニケーション能力です。私は昔から人見知りで、人と話すことが苦手でした。しかし合唱ではみんなが同じ目標に向かって助け合わなければいけないため、他の部員が出ないパートを引き受けたり、同期や後輩の悩み相談を聞いたりすることが多くなりました。すると、自然と会話が生まれるようになり、今では自分から積極的に声をかけられるようになりました。この力を生かして様々な人と話し、自分をもっと成長させたいです。

### 3. 日頃あなたが大切にしていること（心がけていること）は何ですか？

常に改善策を探すということを心がけています。何に対しても現状に満足することなく、もっとより良いものにできないかと考えることで問題の解決はもちろん、考える力が身につく、自分自身の成長につながっていると感じています。ただし、頑張りすぎてしまうと周りが見えなくなってしまうたり、疲れすぎてしまったりするので、適度に力を抜いてリラックスすることも忘れないようにしています。

注) ※高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定の合格者は、直近3年間の生活・学習記録として記入すること。

※記入は黒のボールペンを使用すること。(フリクション不可) ※【受験番号\*】は記入しないでください。

※両面印刷不可、モノクロ印刷は可。